高商連ニュース

高知県商工団体連合会　NO.995(53-22)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838　FAX088-832-3126
Ｅメール　kosyoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosyoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

「申告、給付金申請の相談は民商に」の宣伝を

■2022年　春の運動

2/20 現在	拡大					成果会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安　芸	1	0	0	0	0	1
香美郡	4	1	2	0	0	4
南　国	5	0	1	0	0	3
高　知	13	8	2	2	0	6
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須　崎	2	1	2	0	0	1
中　村	1	2	2	0	0	3
計	26	12	9	2	0	18

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

高知市内

須崎市内

ポスターの貼り出しに協力ください

「商売の困ったは、民商に相談」のポスターを作成、貼り出しをしています。

会員のみなさん貼り出しに協力ください。

ポスターは民商事務所にあります。申告仕上げ会場でもお願いをしています。

今年の重税反対統一行動＜集団申告＞は例年と違います

３月１３日が日曜日、コロナ感染拡大のため、下記の日程、内容となっています。

	日時等	内容等	注意
安芸地区集会	３月１４日(月)	実行委員会代表者が一括提出します	現時点での計画です。感染拡大の状況によっては、日時・内容が変更になる場合があります。
香長地区集会	３月１１日(金)１３：３０～	南国市土曜市開催場所に少人数ずつ集まり、デモ行進して集団申告	
県中央集会	３月１１日(金)１３：３０～	ＪＲ高知駅前、ホームセンターコーナン西隣り広場集合（事前予約必要）	
土佐・いの地区集会	３月１１日(金)１３：３０～	いの公民館（簡単な集会をしたのち集団申告）	
須崎集会	３月１１日(金)１３：３０～	須崎市民文化会館（簡単な集会をしたのち集団申告）	
中村集会	３月１１日(金)	実行委員会代表者が一括提出します	

無料法律相談会
2月24日(木)
午後1時～3時

○1組30分。○リモートでの相談もできます。○事前申しこみは各民商事務局にして下さい。

共産党県議団「県政懇談会」

日本共産党県議団は、毎年、3月県議会前に県内各団体等と懇談会を行っています。今年は18団体24人が参加しました。高商連(民商県連)からは、東谷会長が出席しました。

高知県商工団体連合会（高商連）からの要望

1、インボイス制度実施中止・延期を
県議会に実施延期を求める意見書採択を陳情しています。陳情採択に尽力願います。

2、県徴収事務マニュアルの改訂を
高裁判決、国税庁徴収部長名の指示に対応できるように、鳥取県のような「預金口座の差押」についての詳細な取り決めを定めてください。

3．新型コロナの事業者への、県の政策の改善を
①今年に入り、新型コロナオミクロン株が流行してからというもの、今までで一番ひどい状況だと、多くの業者から声があがっています。業者の声をきいてください。（下記参照下さい）
②あんしん会食推進店の「応援金を非課税」にしてください。
③県の「新型コロナ臨時給付金」の計算方法を、わかりやすくしてください。
④売上金額が少ない事業者は、計算上、給付が受けられない場合があります。“経済的に影響を受けた業者の実態にあった給付額”を、設定して下さい。

＜幡多地域の業者の声＞

①去年の 10 月ごろから、売上がさっぱり！オミクロンが出てから、さらに人の動きがぱったり止まった。お客さんいません！（喫茶店）

②コロナになって 2 年ほどになる。このままでは、廃業や破産も考えなくては･･･という強い危機感がある。昼の飲食には、「休業協力金がでないが、感染対策の協力はやってくれと言われる。店側として、やれることは十分やっているつもり！まじめにがんばっているのに、疲れた。この 2 年間をみてきて、政治は何もしてくれないと思った。　（喫茶店）

③昼のお客さんが、以前の一割にも満たない。ほんの数人！今までで一番ひどい！（定食屋）

④コロナで受けた貸付の返済が始まる。政策金融公庫にも借りている。返済の猶予をしてもらっているが、これからどうなるか、不安でたまらない！（居酒屋）

⑤1月は、お客さん 0 人の日が何日もあった。こんなことは、開業以来初めて！今までで、一番ひどい状況！（土産物屋）

⑥事業復活支援金の額が少ない！これでは復活できません！また、県臨時給付金の内容もわかりにくい…（建設関係）

⑦売上0円の日が続く。店は開けているだけ。今、スーパーも、コンビニも、お客がいないとのこと。いつも流行っているコンビニの店主がヒマだと言っていた。（スナック）

⑧物流（問屋）は、飲食店の売上が減ると、卸す商品が減り売上も減る。だからといって、牛乳やパンなど日持ちしない商品は定期的に卸さないといけないので、ガソリンや人件費などの経費が発生することに変わりはなく、むしろ赤字になるくらい。今、世界的な自然災害による食糧不足、加工食品は外国からの輸入頼み、コロナによる海外からの資材・生産物の輸入遅れなどが影響し、日本国内に食料品始め物がないため、物価が上がり仕入れ値が上がる状態になっている。物流が止まると、何もかもが止まる。自分たちもコロナにかかるかもしれないと思いながら働いている。同業者が廃業し、その分をうちが引き受けたので、卸す店舗が増えた分「売上」が上がっている。だから、「売上」で給付対象が決まる給付金などには、一切該当しない。売上でみるのではなく、「利益率」でみてほしい。

⑨なぜ、夜の飲食ばかりに、休業協力金がでるのか？　バランスが悪いのでは？お酒の提供をすることでクラスターがおこりやすいということなのかもしれないが、“外食はダメ”というメッセージが強調され、昼の飲食もあおりを受け、客足がなく、休業せざるを得ないところがある。あんしん会食認証を受けても、なんの効果もない。むしろ売上が下がった。また、全国で、喫茶店の廃業率が高いともきいた。（喫茶店）

⑩代行運転は、居酒屋やスナックが休業したら、一切収入ありません。タクシーは昼の営業ができるのでその点良いですが…。（運転代行業）